

新しい環境に進むにあたって③

来年度から、保育所、幼稚園、小学校へ行かれるお子さんをお持ちの方に知って頂きたいお話です。

● 始めの一步はいずこから（新年から…春から夏から…いいえ、今日から）

じゃあ、新学期、こいつあ春から…で、なにか、始めてみましょうか。

どこからはじめたらいいのかわからない人は、まず下の五つをコツコツやってみましょう。

ゆるゆるでいいですよ。変化はひとつだけといいます。最初は、ぼちぼちです。

まずはここから、はじめてみましょう！

- 1, スケジュールをはじめてみよう
- 2, カレンダーもはじめてみよう
- 3, お子さんのスペースをつくってみよう
- 4, 本人のことは、本人が選んでみよう。選んだものにマーキング（名前をつける）。
- 5, 伝えてきたら、よほどのことでない限り聞きいれてみよう。（要求も拒否もできるだけ認める。こちらに注意を向けた時は、すぐ応えるなど…。でも、だめな時は最初にきっぱり断る！）

これらを始めていくと、

- ・お子さんにわかりやすい時間や空間を示すこと
- ・自分のこと（我・人・自閉症・子ども）
- ・主張を受け入れてもらっていること

この三つが、お子さんにわかる（伝わる）ことで、「子どもと大人の信頼関係」ができてきます。

まず、自閉症なんだから…それがお子さんの暮らしにどう影響を与えているのか、をまず知ることが大切。

障害特性による「生活のしにくさ」「出来ないこと」があります。

でも「素敵で得意なこと」「出来ること」もあります。

「生活のしにくさ」や「出来ないこと」を理解して、お子さんの「素敵で得意なところ」や「出来ること」で生活を組み立てましょう！

こちらから、お子さんに【先に】歩み寄ることで、お子さんは居心地よくなります。

すると、お子さんからも歩み寄ってくれます。

だから、お互いにもっと居心地良くなります。この逆はありません。